



開始剤や触媒を用いない簡便な新規高分子材料の合成方法

ヘテロ環状化合物を用いる新規高分子材料の開発

技術分野分類	4802：有機工業材料
技術キーワード	A：機能性有機材料
産業分類	E-18：プラスチック製品製造業

内容	概要	我々は、環状ケテンアセタールと電子受容性モノマー（二硫化炭素、二酸化炭素、フェニルイソ（チオ）シアネート等）との反応を行なうと、ベタイン型中間体を経た後、新規ポリマーが得られることを見出した。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	従来の開始剤や触媒等を用いないことやベタイン型中間体を経る重合様式が特徴である。この合成法は全く新規な種類のものであり、合成原料のみで反応が進むため純度が高い合成が可能になり、さらには従来にない高分子材料を合成できる。
	本技術の有用性	高分子合成は材料開発の基礎である。その中で、従来とは異なる方法で合成された多くのポリマーは、珍しい機能性や高い性能を有する新規材料となりうる可能性を秘めている。
関連情報 (図・表・写真等)	<p style="text-align: center;">式 環状ケテンアセタールとヘテロクムレンの反応</p>	
適用可能製品	高分子構造材料、塗料、接着剤など化学工業製品全般	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	小田 三都郎 名古屋市工業研究所 材料技術部有機材料研究室 主任研究員
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名古屋市工業研究所 支援総括室 052-661-3161/052-654-6788 kikaku@nmiri.city.nagoya.jp

■知的財産

■試作品状況



提示可 提供可

作成日 2012年9月21日